

新 知 故 温

Vol.27

【発行】
2023年(令和5年)
3月27日

岩崎友一県議会だより



ご挨拶

地域の皆様には、日頃より私の活動にご理解とご協力を賜り、大変ありがとうございます。

さて、3月23日、37日間に及ぶ県議会2月定例会が閉会しました。定例会では自由民主党会派を代表し、6度目の代表質問に登壇しました。また、予算特別委員会では、新年度予算の足らざる部分を指摘の上、予算の編成替え(組み替え)動議を提出いたしましたので、その内容についてご報告いたします。

ロシアがウクライナに侵攻を開始してから1年が経ちました。震災により、尊い命を失った者の一人として、人為的に命が奪われている。特にも何の罪もない子どもや女性が犠牲となっている現状に心が痛みます。一日も早い収束を願うものです。

一方、これは対岸の火事ではなく、我がこととして捉えなければなりません。私たちの当たり前の日常は

平和の上に成り立っています。国際情勢の不安定化が進み、日本の隣国であるロシア、北朝鮮、中国の脅威が差し迫る中、日本の防衛はどうあるべきか。地域の皆さんとも議論を深めていきたいと思えます。

東日本大震災津波の発生から12年の歳月が流れました。この間、台風災害、コロナ禍、そして急激な物価高と私たちの日常を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。浜の大不漁も追い打ちをかけています。

このような現実を真正面から受け止め、現場の声を大切にしながら、徹底した足元の対策と将来を見据えた政策の立案・推進に向けて活動してまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

令和5年3月27日 岩手県議会議員 岩崎 友一 とも かず

岩崎友一事務所

釜石事務所

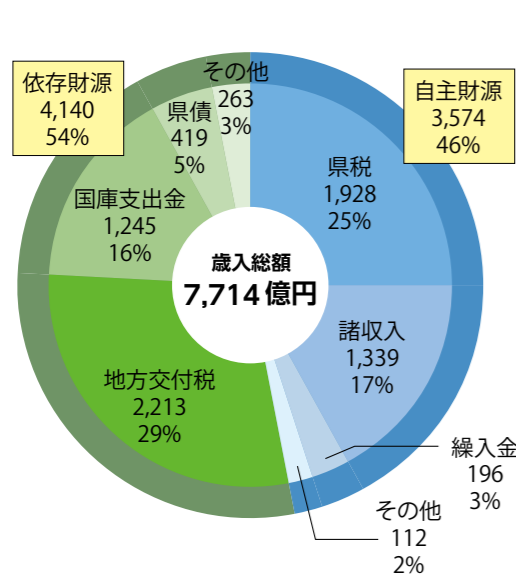
〒026-0025 岩手県釜石市大渡町2-6-23 TRYビル2階
TEL: 0193-55-6830 FAX: 0193-55-6831

大槌事務所

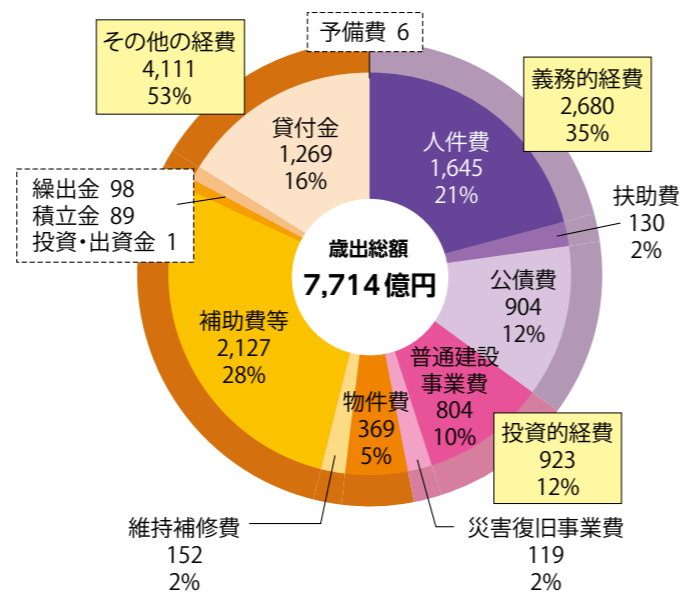
〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌 23-7-5 (大槌タクシー内)
TEL: 0193-42-2257 FAX: 0193-42-2258

令和5年度 岩手県当初予算の概要

歳入予算の状況 (単位：億円)



歳出予算の状況 (単位：億円)



令和5年度の岩手県の当初予算は7,714億円、昨年度から208億円のマイナスです。依然として歳入の半分以上が依存財源であり、地方交付税、国庫支出金が大部分を占めます。岩手県の実状に即した交付税制度の確立に向けた提言、国庫支出金の確保に向けた要望など、実効性ある取組が必要です。

【主な新規事業】

- いわて子育て応援保育料無償化事業費補助 4.6 億円
第2子以降の3歳未満児の保育料等の無償化を行う市町村へ補助
- いわて子育て応援在宅育児支援金 1 億円
第2子以降の3歳未満児を在宅で育児する世帯へ月額1万円を支給する市町村へ補助
- 若者・女性創業支援資金貸付金 1.5 億円
若者・女性の新規創業者に対し、開業資金を貸付、保証料の全額及び3年間の利子を補助
- 地震・津波対策緊急強化事業費 1.2 億円
本県最大クラスの津波被害想定を踏まえた沿岸市町村の取組に対して補助

【主な東日本大震災津波関連事業…366億円（前年比111億円のマイナス）】

- 中小企業東日本大震災復興資金貸付金 265 億円
- 河川等災害復旧事業費（閉伊川水門）35 億円
- さけ資源緊急回復支援事業費補助 3.9 億円
- 中小企業等復旧・復興支援事業費（グループ補助）6.3 億円

【主なコロナ対策…914億円（前年比52億円のマイナス）】

新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金等 593 億円、病床確保に要する経費 155 億円、宿泊療養施設の確保に要する経費 56 億円、PCR検査や入院措置に要する経費 32 億円、ワクチン接種に要する経費 30 億円など

代表質問

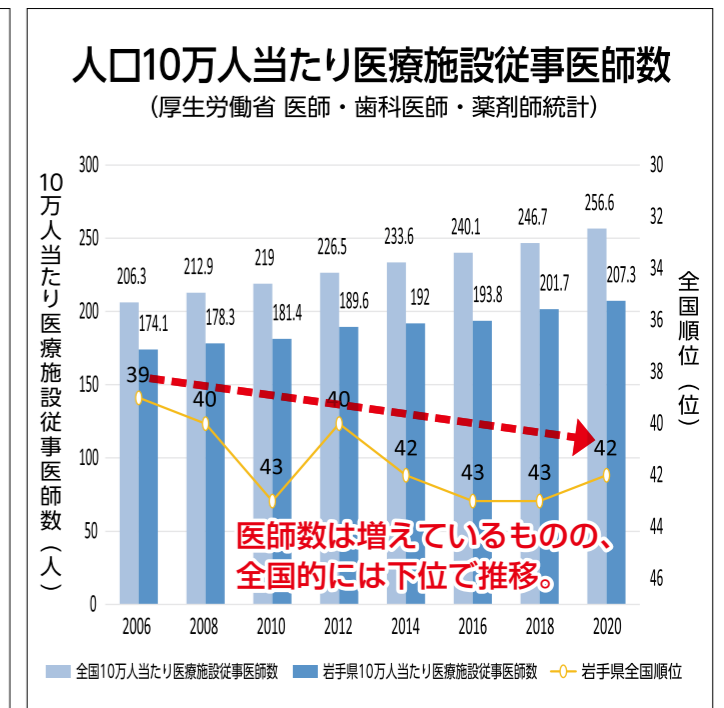
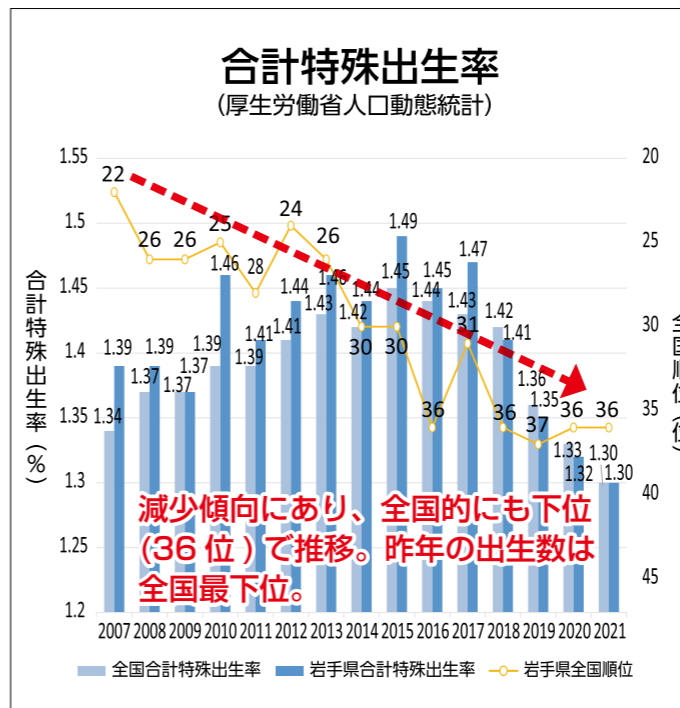
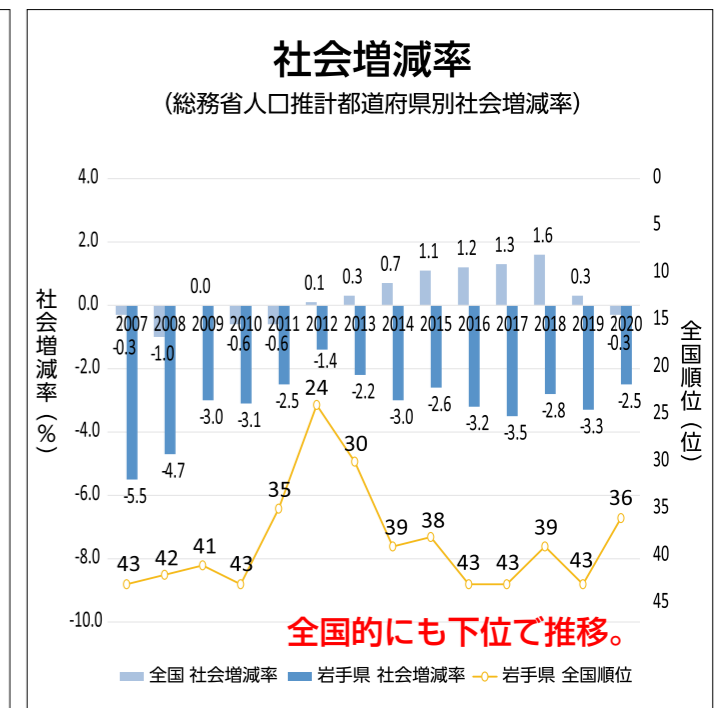
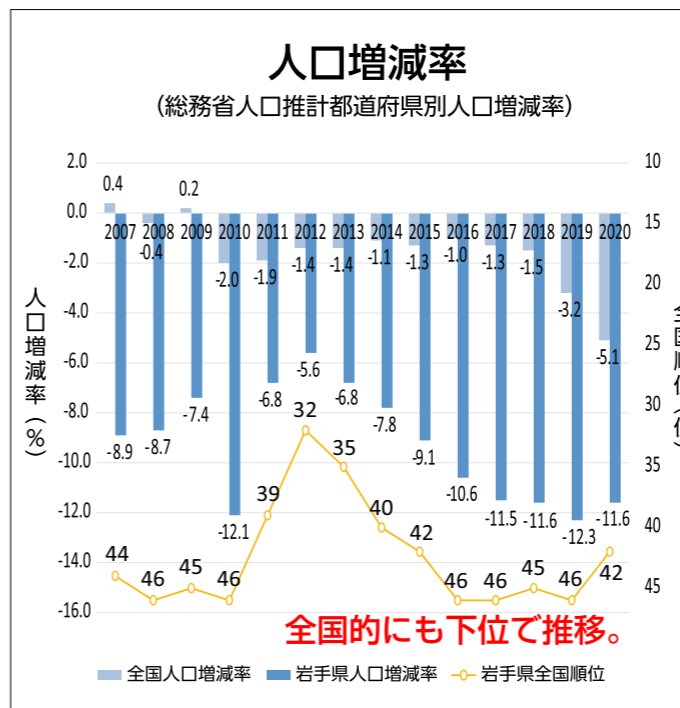
（令和5年2月22日（水））



※ 質問の様子は、QRコードからご覧いただけます。

- 質問項目
1. 達増県政16年の総括について
 2. 人口減少対策について
 3. 産休・育休の取得促進に向けた環境整備について
 4. 知事の政治姿勢について

○「達増県政16年の総括について」質疑の際に用いたデータは以下の通りです。



令和5年度予算(案)に対し、動議を提出



3月16日の予算特別委員会最終日に、令和5年度岩手県一般会計予算(案)に対し、編成替え(組み換え)を求める動議を提出しました。私は提出者の一人として、以下の通り、提案理由の説明を行いました。

<編成替えを求める理由>

岩手県は深刻な人口減少問題に直面している。昨年、日本全体の出生数は80万人を割り込み、出生数の減少は全国的なトレンドとなっているものの、岩手県の出生数は前年に比べて10%以上減少し全国ワーストとなっている。

これは、出生数の減少にしても、合計特殊出生率の低下にしても、全国的なトレンドを原因とするだけで、岩手県独自の課題の原因分析まで至っておらず、有効な事業が実施されていないことが要因である。令和5年度予算案では人口減少対策を最優先事項に掲げ、人口減少対策に係る事業として217億円が計上されているが、その大半は既存事業であり、減額となっている事業も多いことから、予算額に表れているほどの大胆な予算編成にはなっていない。

また、人口減少問題に加え、コロナ禍による経済の疲弊、物価高騰と多くの危機に直面しているおり、農林水産業などへの支援による経済再生や、発生から12年を迎えた東日本大震災津波の被災地におけるなりわい再生を進めるための重層的かつ強力な支援が求められる局面であるが、十分な予算措置にはなっていない。

かかる観点から、全国で最も深刻な人口減少問題に直面している岩手県としては、より一層戦略的な事業の構築を図り、重点的な予算配分を進める必要があるが、現在提出されている令和5年度当初予算案は不十分な内容であることから、これを撤回し、次に示す「編成替えの概要」に則り、編成替えを行うべきである。

<編成替えの概要>

① 出生数減少への更なる対応

第二子以降の保育料の無償化および在宅育児支援については第一子までその対象範囲を拡大する内容に増額修正すること。

② 若年層の社会減に対する対応

人口の社会減の大きな原因となっている他圏域との所得格差の是正に向けて、国の制度も活用しながら中小企業の賃上げのための助成制度を創設すること。若者が就職時に最も重視している労働環境を改善し、若年層の社会減に歯止めをかけるため、年代別や産業別などの労働環境を精査した上で総実労働時間を短縮させ、仕事と子育てが両立できるよう、働き方改革を推進する事業を増額修正すること。

③ 農林水産業の振興への対応

人口減少や物価高騰により苦境に立たされている農林水産業が、引き続きわが県の基幹産業として岩手県を牽引できるよう、物価高騰対策に係る支援を拡充すること。

④ 子どもたちの「生きにくさ」を「生きやすさ」に変えるための対応

全ての子どもの可能性を最大限に高める学びのセーフティネットを構築するため、不登校児童生徒の支援体制を強化するとともに、専修学校への支援を私立学校と同程度の基準まで引き上げること。

⑤ 東日本大震災津波からの復興を強化するための対応

複数ローンを抱える被災企業を対象に、物価高騰対策として財政支援制度を創設するとともに、3月11日を中心に、被災地経済の活性化、風化防止及び震災の伝承を目的とした大規模且つ広域的な事業を行うこと。

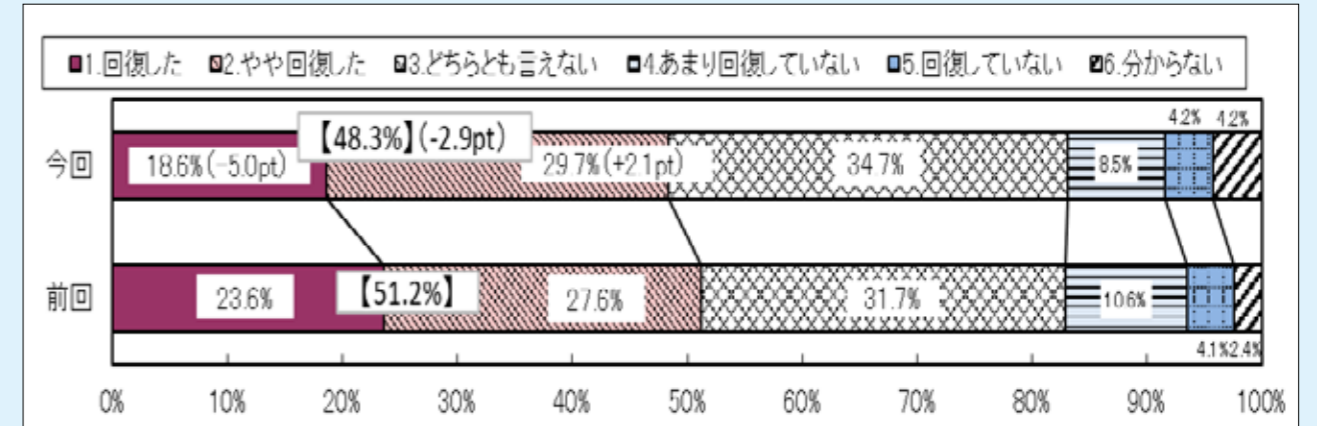
私たちは本県の現状に危機感を持ち、このままジリ貧になっていくのを見過ごすわけにはいかないという強い思いをもって、新年度予算(案)の足らざる部分について、編成替え(組み換え)の動議を提出したものです。

結果、20対23で否決されたことは残念であり、且つ悔しい思いもありますが、私たち議員は選挙によりそれぞれの地域で負託を受けています。決して、県当局のイエスマンではなく、常に県民に寄り添い、誰もが将来に希望をもてる新しい岩手をつくるため、引き続き、強い信念をもって、活動してまいります。

これからの復興に「経済復興」の視点を!!

○今年1月に行った令和5年第1回「いわて復興ウォッチャー調査」の結果です。

地域経済の回復度に対する実感



令和5年度当初予算におけるいわて県民計画(2019~2028) 第2期アクションプラン「復興推進プラン」の主な構成事業

なりわいの再生 ~水産業・農林業、商工業、観光~

主な事業

- 新** 漁場等生産力発揮対策事業費 5百万円 【農林水産部】 **新**: 新規事業
漁場等が有する生産力を十分に発揮させるため、海藻養殖の増産に向けた技術開発やウニの安定出荷に向けた取組を実施
- 新** 新たな水産資源利活用モデル開発事業費 7百万円 【農林水産部】
増加している水産資源の有効利用を図るため、水揚量が増加している魚種を対象とした新たな水産物の販路・物流モデルの構築に向けた取組を実施
- 新** いわて教育旅行誘致促進事業費補助 12百万円 【商工労働観光部】
三陸地域への教育旅行の誘致拡大と周遊促進を推進するため、旅行者に対し教育旅行の催行に要する経費の一部を補助
- 新** さんりく旅プラスキャンペーン推進費 11百万円 【商工労働観光部】
三陸地域の宿泊施設で利用できるクーポンをOTA(オンライン旅行取引事業者)を通じて造成し、三陸地域への誘客を促進

新年度から、県の第2期アクションプラン「復興推進プラン」がスタートします。私は一昨年、昨年の代表質問や東日本大震災津波復興特別委員会、予算特別委員会をはじめ、様々な機会を捉えて、経済復興の視点を持ち、大胆な政策の立案と推進を訴えてまいりました。

しかしながら、新年度の新規事業も掲載のとおり、予算規模、事業内容ともにインパクトが弱く、県としての覚悟が全く見えない現状は大きな問題であります。

グラフの通り、今年1月の県の調査でも、地域経済の回復度は、「回復した」、「やや回復した」を合わせても、50%を下回っている状況にあります。

震災により、大きく人口が減少し、高齢化が進んだ被災地において、強い経済をつくることは容易ではありませんが、この課題は中期的には岩手県、長期的には日本の課題であり、課題の先進地として、解決にあたっていく必要があります。

引き続き、「経済復興」の視点を重視し、真の復興完遂に向けて、取り組めます。

活動報告

唐丹漁港の浚渫は新年度から



昨年8月の漁港検診において、唐丹漁港について泊地に砂が堆積し、漁船の航行や船揚場などの利用に制限が生じるなど、非効率な漁業活動を余儀なくされていることから、安全な漁船の航行と効率的な漁業活動のため堆積砂の浚渫の要望をいただいております。

その後、県当局と協議を行い、令和5年度から令和6年度にかけて工事を行うこととなりました。

予算の関係から、複数年度の工事となりますが、地元漁業関係者とも連携しながら、早期完了を目指してまいります。

岩手県中小企業団体中央会から要望を聴取



11月4日、自由民主党として岩手県中小企業団体中央会から要望をいただきました。

冒頭、小山田会長から本県の中小企業の置かれている厳しい現状についてご挨拶をいただき、重要項目についてご説明をいただきました。

物価高騰対策、コロナ対策、地方創生等に関し、具体的な提案も含めてご要望をいただき、我々も様々な業界の抱える課題について理解を深めさせていただきました。

中央会に加入する県内2万6,000社の思いをしっかりと受け止めさせていただき、一つでも多くの要望に応えられるよう、取り組んでまいります。

今年度の中央陳情を実施



11月16日、自民党岩手県支部連合会・岩手県議会自由民主党合同の中央陳情を行いました。

9月末に県内の33市町村を訪問し、ヒアリングした内容を取りまとめ、国に関する事項について、自民党本部、復興庁、経済産業省、デジタル庁、農林水産省、財務省、国土交通省に対し、要望いたしました。

デジタル庁への訪問ははじめてでしたが、今後あらゆる業界・業種においてDXを進める上で、重要な省庁となりますから、まずは行政のDX推進に向けて各自治体にはデジタル庁と上手に連携した取り組みを進めて欲しいと思います。

今回、要望した事項について、その進捗状況についてフォローアップしながら、本県の課題解決に向けて、組織一体となり、努めてまいります。

若手漁業者の皆さんと意見交換



11月18日、私が幹事長を務める岩手県議会水産振興議員懇談会として、釜石市の岩手県水産技術センターにて若手漁業者の皆さんとの意見交換会を開催しました。

意見交換に先立ち、磯焼け対策として進めている藻場再生の取り組み事例について、釜石東部漁業協同組合青年部の久保氏、越喜来漁業協同組合青壮年部の里見氏から発表をいただき、その後、いわて水産アカデミー第4期生の皆さんを交えて意見交換を行いました。

磯焼けや主要魚種の不漁、後継者不足など、漁業や水産業の抱える課題は数多くありますが、この困難を乗り越え、魅力ある産業として育成していかなければなりません。

漁師を目指す確かな若手がいるということをうれしく思う一方、そういった方々の独立へ向けた支援の強化の必要性など、現場の生の声も聞かせていただきましたから、しっかりと応えられるよう、取り組みます。

大槌商工会青年部の皆さんと意見交換



1月22日、大槌商工会青年部の皆さんと意見交換会を行いました。

広瀬めぐみ参議院議員、千葉じゅんこ前県議会議員をゲストに迎え、地域づくり、コロナ対策、物価高の影響など、様々な分野について意見交換をさせていただきました。

経済、医療など大槌町を取り巻く環境は厳しいですが、意見交換会では現状を嘆くのではなく、これからどのようにして経済を回していくか、より良い地域をつくっていくか、そしてここで活躍する若者に定住してもらうために何をすべきか、前向きな議論が多くありました。

少子高齢社会と言われますが、大槌町も含めて県内

活動報告

には、大志をもつ若者が多くいます。そんな皆さんの声を大切にしながら、また力を合わせながら、新しい岩手、岩手の確かな未来をつくっていききたいと思っております。

豊橋市役所にてテクノロジーを活用した防災の取り組みを調査



2月2日、所属する岩手県議会デジタル社会・DX推進調査特別委員会の視察で愛知県の豊橋市役所を訪問し、テクノロジーを活用した防災の取り組みについて調査を行いました。

豊橋市では平成27年9月の関東・東北豪雨の際、ボランティアにあたった職員が被災状況を目の当たりにし、広域的な被災の状況を把握するには上空からの状況確認が有効と考え、ドローンを導入し、平成29年には消防や市役所の各部署からメンバーを集め、ドローン飛行隊を結成し、日々、有事に備えた活動に取り組んでいます。

昨年、釜石市で開催された防災国体にも出展されました。

また、日本におけるSNS利用者の増加に目をつけ、AIをはじめとするテクノロジーと防災・危機管理に特化したSpecteeを導入し、民間の情報を一早く入手することで、自己完結型のリエゾン派遣を可能にするなど、魅力ある取り組みを進めています。

国において、また全国各地の自治体でも、様々な取り組みが進められておりますが、県土の広い本県において、どのような方策をとるべきか。各地の取り組みも参考にしながら、より良い方策を構築できるよう、努めていきたいと思っております。

岩崎友一のプロフィール

岩崎友一

(いわさき・ともかず 44 才)

誕生日 昭和53年9月18日
身長 165cm
体重 60kg
血液型 B型



公式 HP



Facebook

自己紹介

趣味 野球、ゴルフ、DVD・音楽鑑賞、温泉旅行
座右の銘 「温故知新」
好きな食べもの 納豆、麻婆豆腐(辛口)、秋刀魚の塩焼き
長所 何事にも前向きなところ
短所 たまに突っ走りすぎる

経歴

平成 3 年 大槌町立安渡小学校 卒業
平成 6 年 大槌町立大槌中学校 卒業
平成 9 年 盛岡中央高等学校 卒業
平成 15 年 城西大学 経済学部 経営学科 卒業
平成 16 年 鈴木米子司法書士事務所 勤務
平成 18 年 (株)ガルバート・ジャパン 勤務
平成 22 年 (株)大槌タクシー 専務取締役就任
平成 22 年 岩手県議会議員補欠選挙で初当選
平成 23 年 岩手県議会議員選挙で 2 期目当選
平成 27 年 岩手県議会議員選挙で 3 期目当選
令和 元 年 岩手県議会議員選挙で 4 期目当選 (現在に至る)

自由民主党岩手県支部連合会の役職

平成 30 年 1 月～ 幹事長
平成 25 年 12 月～平成 30 年 1 月 政務調査会長
平成 22 年 10 月～平成 30 年 5 月 青年局長

県議会の役職等

令和 3 年 10 月～
商工建設委員会 委員
デジタル社会・DX 推進調査特別委員会 委員
令和 2 年 3 月～
議員定数等検討会議 副座長
令和元年 9 月～
東日本大震災津波復興特別委員会 委員
令和元年 9 月～令和 3 年 9 月
総務委員会 委員
人口減少対策調査特別委員会 委員
平成 30 年 1 月～
自由民主党 会派代表
平成 29 年 10 月～令和元年 9 月
環境福祉委員会 委員
東日本大震災津波復興特別委員会 副委員長
防災・減災対策調査特別委員会 委員
議会運営委員会 委員
平成 27 年 11 月～平成 29 年 10 月
ふるさと創生・人口減少調査特別委員会 委員
平成 27 年 9 月～平成 29 年 10 月
総務委員会 委員
東日本大震災津波復興特別委員会 委員
議会運営委員会 副委員長
平成 26 年 10 月
決算特別委員会 委員長
平成 25 年 10 月～平成 27 年 9 月
総務委員会 委員長
議会改革推進会議 副座長
平成 25 年 10 月～平成 27 年 7 月
スポーツ振興等調査特別委員会 委員
平成 24 年 10 月
決算特別委員会 副委員長
平成 23 年 11 月～平成 25 年 10 月
地域資源活用による観光振興等調査特別委員会 委員長
平成 23 年 9 月～平成 27 年 7 月
東日本大震災津波復興特別委員会 委員
平成 23 年 9 月～平成 25 年 10 月
農林水産委員会 副委員長
平成 23 年 9 月～平成 24 年 7 月
議会運営委員会 委員
平成 23 年 4 月～平成 23 年 9 月
災害対策特別委員会 委員
平成 22 年 8 月～平成 23 年 9 月
県土整備委員会 委員
平成 22 年 8 月～平成 23 年 3 月
平泉世界文化遺産推進調査特別委員会 委員
地域医療等対策調査特別委員会 委員
初当選 平成 22 年 8 月 2 日



2月10日、岩手めんこいテレビさんの
ミットナイトプライム～県議に聞く 岩手の
未来～に出演しました。県内経済と産業振
興への対策、地元雇用の維持拡大、少子高
齢化対策、復興の歩みなどについて、私の
考えをお話させていただきましたので、是
非、ご覧ください。

